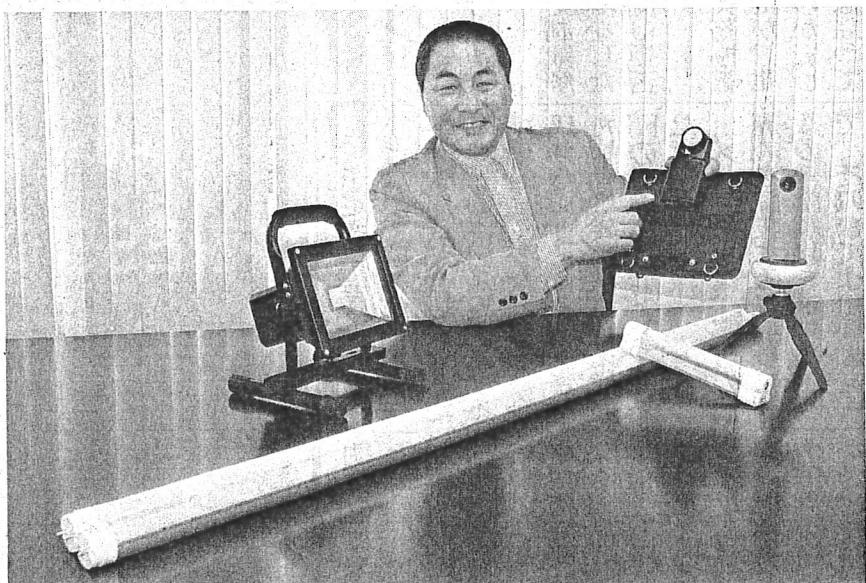


変化に
挑む

LED照明開発・販売 ルクス・エナジー(新潟・中央区)

ニッチな製品で独自性



設立 2009年 ▽資本金 2800万円 ▽事業内容 LED照明
の開発・販売 ▽従業員数 5人

同社はソフトウェア開発のエクセルシステム(同)の渡辺市社長(62)が、中国人技術者らとともに起業した。システム開発の過程で「LED市場はこれから伸びる」と、中国人技術者に事業化を持ち掛けられ、渡辺社長もLED

明るさを3段階で調整でき、広範囲を照らせる。ハンドバッグほどの大きさで約1・7kgと軽く、バッテリー残量は数値で表示し、電池切れを防ぐ。ユーチャー目線で使い勝手の良さを追求したライトは、内装工事の現場などで相次いで採用された。累計販売台数は7千台を超える。

自社製品の発売を機に、ルクス社には商品開発の依頼が寄せられるようになつた。工事現場をタブレット端末で撮影する際、内蔵フラッシュでは照度が足りないと悩んでいたゼネコンからは「暗い場所も挑戦できる可能性があ

電力消費量の少ない発光ダイオード(LED)照明は、2011年の東日本大震災で省エネ意識が高まつたのを機に普及が進む。LED照明開

(新潟市中央区)は09年に設立され、直管型など定番タイプの販売からスタートした。

現在は建設中のビル内で広い空間を照らす携帯用ライトなど、ニッチな製品で独自性を打ち出す。

同社はソフトウェア開発のエクセルシステム(同)の渡辺市社長(62)が、中国人技術者らとともに起業した。システム開発の過程で「LED

県内ベンチャーは今

会社設立後は、ルクス社で製品を開発し、中国の工場に製造委託する形で直管型や電球型といったタイプを発売した。当時はLED市場が広がり始めたころで、日本の

中小企業の参入は珍しく、多

くの注文が舞い込んだ。11年

にルクス社の社長に就任し、

の将来性に期待して出資。後にルクス社の社長に就任した。た。

だが、次第に苦戦を強いら

れた。別の中国製の製品には粗悪品もあり、「高品質・低

価格」を自負するルクス社にが力を合わせ、内部回路の構成などを研究した。照明の

も厳しい目が向けられるようになつた。大手メーカーの量産が進んだLED照明市場で

値崩れが始まり、価格の優位性も薄れた。渡辺社長は他社

工事現場向けライト好評

製品開発を依頼してきた2

社はいずれも東京の大手上場企業。地方の一企業であつても、アイデアを形にする力がなければ、大手からの信頼を得た。

明るさを3段階で調整でき、広範囲を照らせる。ハンドバッグほどの大きさで約1・7kgと軽く、バッテリー残量は数値で表示し、電池切れを防ぐ。ユーチャー目線で使い勝手の良さを追求したライトは、内装工事の現場などで相次いで採用された。累計販売台数は7千台を超える。

自社製品の発売を機に、ルクス社には商品開発の依頼が寄せられるようになつた。工事現場をタブレット端末で撮影する際、内蔵フラッシュでは照度が足りないと悩んでいたゼネコンからは「暗い場所も挑戦できる可能性があ

自社のLED照明について説明するルクス・エナジーの渡辺市社長(新潟市中央区)